

令和7年度 学校関係者評価書

学校名	北海道苫小牧工業高等学校定時制課程
-----	-------------------

組織名	学校評議員
評 価 者	
学校評議員5名	

1 本年度の重点目標

	(1) 学習環境の整備と毎日の学習を習慣化しよう (2) お互いの人格の尊重と健全な生活習慣を身に付けよう (3) 自己理解の深化と適切な進路を実現する力を身に付けよう (4) 部活動や仕事を通して心身を鍛え、礼儀や忍耐力を身に付けよう	
重点目標の適切さ	目標は素晴らしい。 授業が理解出来ない生徒もいるので、意欲を持てるようにしたい。	

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果 内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方 策の適切さ
大項目	中項目	小項目						
教育課程・ 学習指導	教育課程 等の状況	(1)生徒一人ひとりの実態や学科の特色を生かした 教育課程の編成に努めている。	B	A	・基礎基本の定着、ものづく りとおした技術・技能の習 得を図る。 ・ICTを活用した授業をさら に推進する。 ・教員個人の意見ではなく、 学校としての方針や方向性 を統一して推進する。 ・図書・視聴覚教育では、生 徒たち自身の本離れなども 進んでおり、読書の時間を 設けるなどの充実を図る。	A	A	A
		(2)教職員の連携のもと学習意欲を高める指導方法 を工夫する。	A	B				
	各教科の 授業等の 状況	(3)図書・視聴覚教育の充実を図り、豊かな人間性を 育成する。	B	B				
		(4)教務内規の検討と改善に努める。	B	B				
評価者の 意見等	・ICTの活用が改善の方策として良いと思います。 ・図書館や図書の重要性を是非学んで欲しいと思います。 ・可能な限り保護者向けの相談窓口を設置し、個別な相談に対応する。							
生徒指導	生徒指導 の状況	(1)基本的な生活習慣の育成に努める。	B	B	・個別面談や保護者との連 携のもと生活習慣の確立を 図る。 ・問題行動の未然防止と防 犯に対する意識の向上を図 る。 ・いじめや暴力を許さない体 制をより一層充実させる。 ・交通安全指導を充実さ せ、交通ルールの徹底を図 る。 ・生徒の意思に柔軟に対応 し、部活動を活性化する。	A	A	A
		(2)いじめや問題行動の防止に向けた指導に努める。	A	A				
		(3)交通安全意識の向上と交通事故防止に努める。	A	A				
		(4)ホームルーム・生徒会活動・部活動の充実 に努める。	B	B				
評価者の 意見等	・どの方策も具体的で、生徒の安全に十分配慮されていると思います。 ・防犯意識の向上と問題行動の未然防止、いじめ、暴力対策を強化する。							
進路指導	進路指導 の状況	(1)自己理解と望ましい職業観・勤労観を育成する進 路指導に努める。	B	A	・在校生の就労を推進し、働く ことの意義や目的を理解さ せる。 ・就職を意識したアルバイトに 就かせ意識改革を図る。 ・北海道中小企業家同友会及 び若者サポートステーションと連携し た進路指導を推進する。	A	A	A
		(2)学校、家庭、職場の連携を密にし、進路選択の 支援に努める。	B	B				
		(3)進路に関する情報の収集と効果的な情報提供に 努める。	A	A				
評価者の 意見等	・外部機関との連携を明文化している点に教員の負担軽減と専門性確保の面で優れていると思います。 ・進路指導に関わらせていただいたが、生徒の皆さんの就業意識が年々高まっていると感じる。							
健康安全 指導		(1)学校生活の環境整備を行い、疾病予防、災害防 止に努める。	B	A	・保健だよりをとおして、疾 病や流行性感冒の予防教 育を行い、健康管理の意識 を高める。 ・給食を通じ生徒の健康管 理と食育の啓発を行う。	A	A	A
		(2)健康保持への意識を高め、健康増進への態度を 育成する。	B	B				
		(3)給食を通して、正しい食習慣に対する意識を喚 起する。	A	A				
評価者の 意見等	・健康に対する意識をしっかりと持たせていただきたい。 ・生徒の食生活を支援して良い。							

令和7年度 学校関係者評価書

組織運営		(1)分掌間の連携を密にして校務の効率化を図る。	B	B	・業務内容の精選と分担の検討を推進する。 ・定時制後援会、市内定通振興会等との連携を抜本的に見直し、協力体制を再構築する。	B	B	B
		(2)後援会、振興会等との連携により、学校運営の円滑化を図る。	C	C				
評価者の意見等	・今後の取組に期待しています。 ・教職員の業務負担が課題です。							
研修		(1)校内研修を推進し、実態を踏まえた学習指導を研究する。	B	B	・生徒の実態や学校課題を踏まえた校内研修を実施する。	B	B	B
評価者の意見等	・教職員の負担にならないようなアンケートを実施する。							
保護者、地域住民等との連携		(1)保護者や地域との連携を強化し、教育活動への理解を得る。	B	B	・ホームページや学校だより等をおして積極的に本校の情報発信を行う。 ・行事等による保護者、地域との連携を推進する。	B	B	B
		(2)市内定通振興会を活発化させ、地域や企業との連携を図る。	B	B				
評価者の意見等	・積極的な情報発信を掲げており、地域に開かれた学校を目指す方向性が明確である。 ・津波警報等による避難場所としての学校の活用において、生徒をボランティアとして避難している地域住民に貢献できないか検討していただきたい。 ・緊急時の連絡方法の発信に課題がある。							